



し ろ や ま

令和6年4月9日
第2号
校長 黒原 裕一

令和6年度 みんなで挑戦するキーワード 「思いやり」「まねしてかしこく」「力を合わせる」

5日（金）の始業式では、学校教育目標「豊かな心を持ち、かかわりを大切にしながら、共に生きる喜びを感じる子ども」を具体化する（子どもたちと共に理解する）ために、次のような話をしました。

☆始業式の校長の話☆

今日は、新しい年度、令和6年度の始まりの日です。全員の学年が一つ上がりました。進級おめでとう。令和6年度 山形市立本沢小学校、一学期の始まりです。今年度一年間、本沢小学校全員で挑戦していきたいこと、3つ話します。

1つ目は、「思いやり」ということです。よく聞く言葉ですが、「思いやり」の力をつけるためには、友達や家族、先生などあなたと相手が必要になります。学校では、友達や先生が相手の場合が多いでしょう。もう少し、くわしく話をすると、「思いやりをもって人とつながること」です。自分の考えと違う人とも、あまり話をしたことがない人とも、やさしい気持ちで、一緒に活動することです。その第一歩は「あいさつ」です。

2つ目は、「まねしてかしこく」ということです。わたしたちは、いろいろなことをまねして生きています。例えば算数で10のまとまりを便利だと学んだのであれば、100のまとまりも便利ではないかと考える。先生の話が分かりやすいなあと思ったら、

お友達に説明するとき、わかりやすい話し方をまねしてみる。竹とんぼを飛ばしたことがありますか。何度やっても高く飛びません。昔よく遊んだおじいさんやおばあさん方は、両手の中で何度も何度もくるくる転がしてから、勢いよく飛ばします。まねをするとぼくもグンと高く飛びました。これは私の話です。

何をまねするか、ここがポイントです。まずは、授業のなかで、まねしてかしこくなってください。そうすることで、新しくできることや新しくわかることが増えて、生活が楽しくなります。

3つ目は、「力を合わせる」ということです。一人でできないことも二人ならできる。自分一人だとあきらめてしまうことも、誰かと一緒ならがんばれます。また、



入学式準備／力をあわせる本沢小高学年



一人でできることも、みんなでやればもっとできる。そんなことがありますね。学校は、一人一人が目標をたてて、自分から進んでがんばること、精一杯力を出し切ること、そしてその力を合わせることができる場所です。

「思いやり」「まねしてかしこく」「力をあわせる」今年一年みなさんで挑戦していきましょう。もちろん先生方も一緒に挑戦していきます。

竹とんぼのくだりは、子供たちが一番『うんうん』とうなずきながら聞いていました。体験をしたことを心の中でふりかえり、実感をともなって、話を聞くことができたのだと考えます。

まねることは、学ぶこと。主体的に「まねる力」を伸ばし、これからの時代をたくましく生きていく子どもたちの成長を支えてまいります。これまで同様、ご理解とご協力をお願いいたします。

🌸 9名の新入生を学び舎に迎えた入学式 🌸

8日(月)、新入生9名が笑顔いっぱい本沢小学校に入学しました。おめでとうございます。父母と教師の会会長 山口祥弘様、学校運営協議会 会長 武田久幸様をはじめ、学校運営協議会委員の皆様にご列席いただき、歴史と文化の薫る本校に、新入生を迎えることができますこと、教職員一同大変うれしく思います。

新入生は、少し緊張した様子でしたが、背中に力を入れて緊張することができることは、大切な力です。大変立派でした。今後のがんばりが想像され、大きな期待が膨らみました。また、在校生を代表して新二年生が歓迎のことばとして、本沢小の一年を紹介してくれました。練習を活かし、はきはきと発表しました。たのもしい2年生です。

私からは「式辞」としまして、勉強が楽しくなる三つの約束をお話しました。 以下「式辞」より↓



一つめは、「げんきに」です。運動して丈夫な体をつくることや交通事故にあわないこと、手洗いやうがいをしっかりと、病気にかからないようにすることです。「げんきに」ということは、あいさつにも表れます。みなさんのあいさつを毎日楽しみにしています。

二つめは、「いっしょに」です。はじめてだなということもやってみてください。心配な時は、先生方やお兄さん、お姉さんがやさしく教えてくれます。お手本も見せてくれますから、安心してまねしてみてください。

三つめは、「なかよく」です。友だちとなかよく力をあわせていくと、一人で勉強するよりずっと楽しいです。友だちにやさしくしてください。

お子様の健やかな成長のため、家庭と学校が連絡を密にし、協力し合うことが何より大事なことと思いますので、どうぞ、本校の教育活動にご理解とご協力をよろしく願います。